

10月 2021

米国「性別 X」パスポート、ようやく発行

米務省が10月27日、「性別 X(エックス)」パスポートを初めて発行した、と発表した。「LGBTQI+の人を含め、全ての人の自由と尊厳、平等を推進する」ためとのこと。

米国パスポートでの「性」選択は、これまでかなり自由であった。出生証明書、既取得パスポート、州身分証明書などに記載済みの「性」とは異なる別の「性」の選択が可能だったし、性別変更には医療機関発行診断書も不要。そこに今回、いずれの性でもない「X」選択の自由(権利)が追加されたのだ。

「X」は、要するに「性」を区別しないということ。区別し、区別されなければ、より自由で便利ともいえるので、「X」選択はおそらく増加するだろう。そして、そうなっていけば、性区別を大前提とする既存社会そのものも大きく変わっていかざるをえない。スポーツの男女別、学校・会社・議会における男女別、等々。

そして、「性」が多様化・自由化すれば、「性」絡みの日本の「姓」も、もちろん自由化せざるをえないだろう。



【参照】

[第三の性パスポート、ネパールなどに倣い米でも](#)

[第三の性パスポート、ネパール発行開始](#)

[性的少数者の権利、先進国ネパールから学べ](#)

[M・F・X:ネパール「第三の性」旅券発行へ](#)

[「第三の性」パスポート、最高裁作成命令](#)

[ツクツクの女性運転手さん](#)

[制憲議会選挙 2013\(37\):指名議席争奪](#)

[セックス超先進国ネパールに未来はあるか？](#)

[第三の性、公認](#)

*1 [U.S. Department of State, "Selecting your Gender Marker."](#)

*2 [「男性でも女性でもない「性別X」のパスポート、米務省が初発行」](#)CNN, 2021.10.28

*3 [「性別「X」の旅券、初発給 来年から本格運用—米」](#)時事, 2021年10月28日

*4 [「米、初のLGBTQ旅券「Xジェンダー」選択肢」](#)日経, 2021年10月28日

谷川昌幸(C)

Written by Tanigawa [編集](#)

2021/10/29 at 17:56

カテゴリー: [ネパール](#), [政治](#), [文化](#), [人権](#)

Tagged with [ジェンダー](#), [パスポート](#), [第三の性](#), [LGBT](#), [別姓](#), [性別 X](#)